区 分	ページ		現 行		改 定	備考
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛 第4章 業務委託の 施工歩掛	設計-65	1 漁港・漁港海川 1-1 適用範囲 本項は、漁 1-2 業務内容 システムの 漁港・漁港海 システムへの なお、本シ 基本としてカ	港・漁港海岸の電子台帳システムの整備を行う場合に適用する。 書成要素である漁港・漁港海岸台帳データベース、漁港・漁港海岸カルテ、施設カルテ、 幸平面図(GIS)及び関連データについて、各種資料および現況確認からデータを作成し、 登録を行う。 ステムで利用するソフトウェアは、Cadcoap社のSIS ActiveX*(Ver6.2、Ver7.0、Ver7.1)を スタマイズしたものである。	1 漁港・漁港海 1-1 適用範囲 本項は、漁 なお、本台 を使用してい 1-2 業務内容 システムの について、各 作成する資	港・漁港海岸電子台帳システムの <u>新規データ</u> 整備を行う場合に適用する。 帳は(公社)全国漁港漁場協会が運営する「漁港情報クラウドシステム(以下、システム)」	システム 移行に伴 全面改定
		1-3 作業区分	2 5/20/20 11	1-3 作業区分		
設計業務		名称	業務内容	名称	業務内容	
積算基準		計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、 業務計画書を作成する。	計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成	
運用資料-10 漁港・漁港海岸 電子台帳		資料収集整理	業務計画書を作成する。 データベースに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。 収集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。 また、各種資料の貸与・返却は、打合せ時に直接渡し、あるいは郵送等による送 付を基本とする。また、収集する資料の内、電子データが存在するものについて	資料収集整理	する。 システムに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。 収集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。 資料の貸与・提供は電子アータを原理とする。 方料の貸与・提供は電子アータを原理とする。 京井の貸与・提供は電子アータを原理とする。 京井の賃持備し、あるいは主配便等による遺仕を基本とする。	
整備・更新			は、電子データ (Excel、Word等) を基本とし紙媒体資料の収集は不要とする 【資料】 漁港台帳、漁港施設台帳、漁港事業計画平面図、港勢資料 (港勢調査票・港別資料等)、各種写真(垂直写真、斜め写真、時化写真、利用写真等)、深浅測量図、各種調査資料、工事設計書、安定計算書、委託報告書、漁港海岸区域台帳、漁港海岸保全施設台帳、漁港海岸事業計画平面図、公図(17条地図、国調データ等)、その他	現況確認	調査対象漁港において、以下の現況確認作業を実施する。 ①型集務表 (GNSS 計刊) GNSS訓量機を用いたネットワーク製版形方式により、漁港施設、漁港海岸保全施設 の干価形状及び天満高の計測を行う。 ②型境路を (写真提集) デジタルカメラ等により漁港施設の写真撮影を行う。なお、写真標準サイズは	
		現役確認	調査対象漁港において、以下の現況確認作業を実施する。 ① 漁港原点及び工事基準点 現況座標(位置及び高さ)を計測し、写真撮影(近影及び周辺状況)を行う。 ② 漁港基本施設及び海岸保全施設 漁港台帳に記載のある外郭・係留施設の漁港基本施設や海岸保全施設台帳に記載のある外郭・係留施設の漁港基本施設や海岸保全施設台帳に記載のある堤跡・護岸について、漁港・漁港海岸平面図(GIS)を作成するための基礎資として現況確認作業を行う。外郭施設、係留施設、堤防、護岸の屈曲点及び断面形状の変化点について、位置座標と天端高を計測するとともに、施設全体形状及び構造や特度がわかる全景写真を撮影する。この際、水産基盤機能保全計画の対象施設となるの利・構造物については、老朽化調査の実施単位となる施設スパン毎の現況写真の撮影を行うとともに、スパン形状、目地位置を把握するため、簡易オルソ重像を作成できるよう必要な範囲について、複数方向からUAV(無人航空機Umanned erial Vehicle)による空撮を行う。なお、消波工等の異形プロック製構造物は写り撮影のみ行うこととし、外防波堤、雕岸堤等の沖合構造物については上陸が可能な場合についてのみ計測及び写真撮影を実施する。	A	 250×1920を原則とし、大食く業職しないよう電電する。 漁港基本施設である外班・係資施設及び海岸保全施設については、施設全体形式及び構造を特徴がわかるように施設全体、財産施に超越点からの医真を開影するととしに、スパン毎の写真を開影する。 漁港施施施設のうち、水産基業施設場施保全計画の対象となる道路については施設全量実真。及び起鉄点、交差点ことに写真撮影を行う。 漁港施設川地、漁港管理者が設置、管理を行う建築物や各種漁業開連設施、漁港教援、航設保護等航行補助施設、安全灯・灯機、漁港原点、工事基準点については、施設全量及び構造・特徴のわかる写真を撮影する。 ②マルチョブター計劃「完置」 漁港区域内全域の施基オルツ画像を作成するため、マルチョブター・UAV等による空中写真撮影を行う。 	
			設計-65 361		設計 - 65	

区 分	ページ		現 行		改 定	備考
区 分 第 2 部 漁港算基準 標準 第 4 章 第 8 番 第 4 章 第 8 番 第 4 章 第 8 番 第 4 章 8 番 1 4 0 0 8 計 9 番 1 4 2 1 8 音 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番 9 番	ページ 設計-66	名称: 現況確認:	業務内容 ②漁港機能施設 漁港施設用地、水産基盤機能保全計画の対象となる道路について、UAVにより、空中写真及び施設の全景写真を撮影する。 ④その他の施設 その他施設 (漁港看板、放置堤禁止区域標識、照明施設等) について、位置を計測するとともに写真撮影を実施する。また、海岸保全施設及び海岸環境施設等についても、施設形状の計測及び写真撮影を行う(斜路、陸閘、階段等)。 ※ 1)消波工の計測は不要 2)海岸保全施設のうち、消波堤等の異形ブロック構造物は全景写真撮影のみを実施する 3)天端高は国土地理院が提供するジオイドデータにより東京湾中等開位(T.P.)で整理し、漁港毎の基準潮位図によりD.L.値に換算する 4)位置座標はJGD2011による平面直角座標系の値とする なお、これらの作業のうち、位置座標の計測については、原則として1級GPS測量	名称 ・	業務内容 マルチコブター計画で取得した原像より、写真測量ソフトウェアを用いて漁港区域全域の簡易オルソ順像を作成する。簡易オルソ順像の作成にあたっては、GNSS 計画を行った計測点を展定点として空報更幾の解析/会成を行う。 システムに見様する漁港台帳を構成する以下のデータを標準フォーマットに従って作成する。データ期の連携により位置を明らかにできる場合は、それらを関連付けるためのデータ作成も併せて行うものとする。 型温磁器補単などから、システムに登録するための GIS 形式の漁港電子半面図データを供成する。 ① 平面図データ 漁港電子平面図上に作図する対象については、各店台に基づく測製変値に単版する。 作図は標準フォーマット、システム理地調査の手引及びシステムデータ作成・更新の手引に従って平面運角座標系を用いて行うこととし、施設値に指定するデータ側列(点データ、機データ、ボリゴンデータおよび文字データ)にて機画し、必要な気性データを付与する。	備 考 システム 移行に伴 全面改定
運用資料-10 魚港・漁港海岸 電子台帳 整備・更新		オルソ画像作成 漁港・漁港海岸 台帳データベース 作成 漁港・漁港海岸 カルテ作成	機を用いたVRS-RTK方式により行うこととする。また、現況写真の撮影については、100万画素以上のデジタルカメラ(保存画像ファイル:1280×960ピクセル)により行うこととする。 UAVにより撮影した写真から、地上分解能3cm程度のオルソ画像を作成する。 新規にデータを登録する漁港・漁港海岸のデータベースをシステムに設定し、漁港台帳、漁港施設台帳、漁港海岸区域台帳、漁港海岸保全施設台帳について既往資料(Excelファイル等)をシステムに入力する。 漁港・漁港海岸の基礎情報として、下記に示す項目の入力を行う。 ・事業計画関連資料(特定計画資料、長期計画資料、費用対効果分析資料、機能保全計画書他)・港勢関連資料(港勢調査、港別資料、土地利用計画等)・占用台帳・利用許可給舟データ・その他(災害履歴、波漆履歴、公有水面埋立許可申請資料他) 新規にデータを登録する各漁港について、下記に示す各種情報を、システムに施		また、外部、係留、適能保全施設等でスパン目地を有するコンクリート構造物についてはGNSS計削データ、簡易オルツ画像データから目地位置を判別し、スパン毎のボリゴンデータも供せて位図する。平面図データの背景となる地形地物(等高機、等度機、連携、河川等)、建物、芽、基連点(水準点、三角点)、空中写真、現況 直認によるオルツ画像等について、GIS形式のデータを作成する。なお、これらの情報のうち、海岸保全区域内等の土地環境データで、東洋者が指定するものについては登記機関についても入力を行う。②水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設データ、水域施設が出る。 ②光域施設利用の範囲が明確に分かる資料に基づき、水域施設データを作成する。 ②洗達施設用地利用計画が呼ばてる場合は、各注金に基づき利用計画平面図データの作成を行う、作成にあたっては連携施設の中分類の区分ごとの色分け、用地造成または取得方法に応じたハッチングデータをそれぞれ作成する。	
			設毎に入力するとともに、スキャニングによりデジタル化した各データファイルを 所定のフォルダに登録する。 ・施設情報入力(台帳記載項目、現況確認撮影写真の登録) ・工事データ入力(調書記載項目) ・図面データ入力(施設台帳または工事実施設計書の図面をスキャニングにより データ化し登録) ・完成写真データ入力(工事実施設計書の完成写真をスキャニングにより データ化し登録) ・安定計算表入力(当該施設の安定計算表をスキャニングしてデータ化する)		漁港電子平面図上に作図する漁港商業保全施設については、漁港園設上回様、各法会に基づく週数製値に閲覧し、漁港施設と同様の手頭、方法により作図する。なお、漁港海岸保全施設合帳を作成しない場合は、外形削ポリゴン、スパンポリゴンの作成は不要であり、前島オルツ画像より前設里状を用状態データにて作成する。 設計ー66	

区 分	ページ			現 行		改定	備考
第2部	設計-67	0.50		We the sky of the			
	取同一07	名称	Ma NH	業務内容	名称	業務內容	
漁港関係工 ┃		漁港・漁港海岸平 面図 (GIS) 作成		・個凶アーフ 測結果及びオルソ画像からのトレース及び計画平面図、竣工図	通进:漁港海岸		
事積算基準 ▮		INICE (013) IFAC		漁港・漁港海岸平面図データを作成し入力する。各施設・スパン	北于平面図作成	構成する以下のデータを推進フォーマットにしたがって作成する。データ間の連携	
標準歩掛			The state of the s	には施設属性 (施設諸元、工事情報等) を入力する。		により位置を明らかにできる場合は、それらを関連付けるためのデータ供成も併せ	
保毕少街			・背景図データ	TO SERVING TO THE WAY OF THE WAY		て行うものとする。	システム
			The state of the s	「景となる地形地物 (等高線、等深線、道路、河川等) 、建物、		⑤ 漁港海岸保全区域 女便データ	移行に伴
第4章			土地境界、基準点	(水準点、三角点)、空中写真、現況確認によるオルソ画像等に			全面改定
			ついて、GIS形式の	データを作成する。なお、これらの情報のうち、海岸保全区域内		二表それぞれのデータ作成を行う。	土面以入
業務委託の			等の土地境界データ	で、発注者が指定するものについては登記情報についても入力		①进作前因 于一之	
施工歩掛			を行う(必要な番地	中の登記情報の照会は発注者が行う)。		- 漁港海岸保全施設について、賃当する標準軌面到データ。権所面図データの電子化	
			・区域指定データ:	漁港区域、漁港海岸保全区域、漁業権及び隣接する各種指定区		\$17.2	
1.400				(文等から復元し、GIS形式のデータを作成し入力する。		①水準面膜データ	
1400		関連データ作成	1 - William Property and Control	「る以下の各種資料等についてデジタル化を行い、システムに入		漁港毎に、該当する水澤面図データの電子化を行う。	
設計業務			カする 水域管理データ	Mark on the best for the fields to be the state of the first of the		②塩工展展データ	
積算基準			小板百班アータ	過去の水域施設(泊地、航路)における浚渫工事の履歴及び 内容についてデータ作成しシステムに入力する。		年度毎の工事実情囲書に基づき工事毎のデータ作成を行う。工事関係資料から工事	
			深浅測量データ	既往の深浅測量結果から、等深線のベクトルデータ及び水深		平面図、標準販面図、駅販図、設計図書、安定計算書、完成写真を電子化し、デー	
			100 2000 38	メッシュデータ(原則として10m格子)を作成しシステムに入力する。		クファイルを作成する。関面データは原則として電子成果品媒体から必要なデータ	
運用資料−10┃				作成する深浅測量データは最新のものとするが、砂浜域の場		の抽出を行うが、無規体しか入手できない場合はスキャニングにより電子化する。	
魚港・漁港海岸				合には、過去の海底地形についてもデータを作成し、主要な期	関連データ作成	収集した資料から、漁港・漁港海岸事業に関連する各種の園店・検討資料に基づ	
				間の地形変化状況のメッシュデータの作成を行う。		きシステム登録データを作成する。	
電子台帳			地質調査データ	既往の地質調査の結果から、ボーリング柱状図のデータを作		①老朽化到表データ	
整備・更新			as to am A.	成しシステムに入力する。		ま朽化調表(簡易項目、東点項目、詳細調査等)について、「機能保全計画策定	
			底質調査データ	既往の底質調査の結果から、各調査地点毎の底質分析データ を作成しシステムに入力する。		の手引、第に基づく地段点検技出及び規定/変数を真な整理し、システムを練データ ま作成する。	
			その他調査データ	波浪・流視調査、水質・底質(化学試験)調査、各種自然環		②水域管理データ	
				境調査、標砂関連現地調査等の漁港施設整備に関する各種の調		- 木城施設 (油地、航路等) における波達工事の債額について、システム登録デー	
				査結果について、既往資料に基づきデータの作成しシステムに		夕を作成する	
			F. P. 401 21 44	入力する。		②茂茂出版データ	
			委託報告書	既往の委託報告書をスキャニングによるPDFデータ、または 電子成果品データをシステムに入力する		「茂浅則量データ」(図面または菓子データ)から等流像のベクトルデータを作成する。 ②単質調査データ	
			老朽化調査データ	老朽化調査(簡易項目、重点項目、詳細調査)について、		野荘の地質調査の減果から、ボーリング柱状図のデータを作成しシステムに入力する。	
			New York Control of the Control of t	「機能保全計画策定の手引き」に基づく施設点検結果及び現況		①各種調査データ	
				/変状写真をシステムに入力するとともに、関連資料をシステ		放後・流光調査、水質・庇賀調査、その他の各種自然環境調査等、海港整備に関	
				ムに入力する。		する各種調査効果に基づき。システム登録用データを作成する。	
		システム登録・調整	作成した各データ	について確認およびシステムへ登録するとともに、各データと関連に		<u> </u>	
				行い、発注者のシステムにおいて正常に動作することを確認する。		抵注の委託報告要素子成果品、印刷媒体からのスキャニング Pop データからシステ	
		成果取りまとめ		ベースについて、インストール用のメディアを作成するとともに、	2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	→発練用データを作成する。 システムに変換・登録可能なデータセットを作成する。作成しなデータセットー	
		照査		タについて作成状況及び基礎資料を取りまとめ、報告書を作成する。 低データについて原版と比較検証を行い、入力内容に不備が無い	システム 登録 データ供収	大は、指定形式にて原復(地区)毎に提出し、施書を依頼する。	
		TW III.	か照査を行う。	a / - y to J v · C in the city of the little	成果取りまとめ	作成したデータエットー式をメディアに取りまとめ、成果および作業内容につい	
			15 15 16 E (1 9 5		30 K 4K 7 3K C 37	ての単長書を作成する。	
					照查	入力を行った各種データについて原版と比較検証を行い、入力内容 ちよびシステ	
					1770-	<u>ム上の表集内容に</u> 不備が無いか照査を行う。	
				設計-67 363		設計-67	
					I		

漁港関係工事積算基準の 改定・追加・訂正 適用年月日 (令和6年(2024年)8月1日以降積算基準日適用) 現 行 改 定 備考 区 分 ページ 第2部 設計-68 1-4 積算ツリー 1-4 積算ツリー 漁港関係工 漁港, 漁港海岸 電子台帳整備,更新 漁 港・漁 港 海 岸 電子台帳整備 設計業務委託 計 画 準 設計業務委託 渔港・渔港海岸 漁港・漁港海岸 計画準備 事積算基準 電子台帳整備・更新 電子台帳整備 標準歩掛 システム 資料収集整理 資料収集整理 移行に伴う 第4章 現 况 確 認 現民確認 全面改定 業務委託の オルソ画像作成 ■基オルソ画像作成 施工歩掛 漁港・漁港海岸台帳 データベース作成 漁港・漁港海岸 台帳データ作成 1400 設計業務 血 港 ・ 漁 港 海 岸 カ ル テ 作 成 漁港・漁港海岸 世子平面図作成 積算基準 施設カルテ作成 関連データ作成 運用資料-10 漁港・漁港海岸平面図 システム登録 漁港・漁港海岸 (GIS) 作成 **データ作成** 電子台帳 漁港・漁港海岸平面図 成果取りまとめ (GIS) 作成 (RTK-GPS計測のみに 整備•更新 照查 より平面図データを 作成する場合) 関連データ作成 打合せ 設計協議 工種体系化の手引き シ ス テ ム 登 録 ・ 調 整 直接程費 業務工種体系化構成表 成果取りまとめ 改計 協議 直接 経費 工種体系化の手引き 業務工種体系化構成表 364 設計-68 設計-68

区分	ページ			現	行						改	定定			備る
第2部	設計-69	1-5 数量計算等								1-5 数量計算等					
	以口 03	中区分		小 区 分	hi (i)	数 量		摘要		中区分		小区分	単位	摘要	1
魚港関係工		渔港·渔港海岸	計画準備	20.00	大	100		,,,		漁港・漁港海岸電子台帳整備	計画準備	7,000	式		1
事積算基準 ▮		電子台帳整備	資料収集整	Pi	港						資料収集整理		地上地区		1
標準歩掛			現民確認		Km						現況確認		#:#K		システ、
			オルソ画像	作成	14						無易オルソ画像	作成	他・地区		
655 A 355			漁港・漁港	毎岸台帳データベース作成	港						漁港・漁港海岸	台帳データ作成	地上地区		移行に伴
第4章			海海 - 海海	海岸カルテ作成	准						漁港・漁港海岸	北土王成以作成	地上地区		全面改分
終委託の			施設カルテ	作成	78						関連データ作成	老朽化調査データ	施設		1
施工歩掛			海港。海湾	海岸平面図 (GIS) 作成	,也							木城管理 (後進) データ	y Q		1
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			漁港・漁港	海岸平面図 (GIS) 作成								深浅測量データ	[27]		1
			(RTK-GPS	片測のみにより平面図デ	港							地質調査データ	₹L	1911-112	1
1400				成する場合)								<u>多機</u> 調査データ	[77]		1
設計業務			関連データ	木城管理データ	港							主意这出土二名	m)	12世世北	1
積算基準			作成	深浅測量データ	n]						システム登録と		地上地区		1
以开丛中				地質調査データ	ા						成果取りまとめ		大		1
				庇質調査データ	[1]						昭吉		大		1
用資料-10 ▮				その他調査データ	(D)				_						1
・漁港海岸				委託報告書	HIT					1-6 標準歩掛					1
電子台帳				老朽化,調査データ	[0]					1)計画準備					1
			システム登	The state of the s	港					計画 準備(新規) 1式等り				[DHE80000]	1
整備・更新			成果取りま	200	九							建建		-	1
			照查		式					区分 単位	主任技師	技師(A) 技師(B) 技能	i(C) 技術員	摘要	1
		1-6 標準歩掛								計画 準備 式	1, 0	1,5			1
		1)計画準備								注)電子台帳の整備と更新を同	時に実施する場合	は、整備にのみ計上する。	'		1
		T > B but = b - bed								District Audit Strate (2000) and District (2000) and Strate (2000)					1
		計画準備(整備))					[DHE	0000]						1
		区分	数最	4位 值	接	人件	1	費	前 要	2) 資料収集整理					1
		15 //	10.400	主任技師 技師(A) 技師	fi(B) 技師	(C)	技術員		資料収集整理(新規) 上港	- 無区当り			[DHE80100]	
		計画画	(備) 1	式 0.7 1.	3							直接人件費			1
		注) 電子台帳の整	備と更新を同じ	時に実施する場合は、整備	にのみ計上	とする。				区分単位	主任技術	技師(A) 技師(B) 技師	f(C) 技術員	摘要	1
		A Company of the Annual Company								資料収集整理 港上		0.5 1.0	1.2		1
		2) 資料収集整理								注) 1. 資料収集整理は、原則					1
		資料収集整理(整備)					[DHE	0100]	2. 複数の箇所より資料収					1
		IX ()	Mr. El.	116 445	接	人件	1	8		計上する。					1
		区分	数重	単位 主任技師 技師(A) 技師	fi(B) 技師	(C)	技術員	商 要						1
		資料収集整	2理 1	港 0.	7 1	. 8		2.5							1
		注) 1. 資料収集	整理は、原則	として初回協議又は中間協	議時に実施	ですることを)	原則と	する。							1
		2. 複数の箇	所より資料収り	集を別途実施する必要があ	る場合には	は、適宜、旅	費(技	師(B)、技術	(1) を計						1
		上する。													1
															1
															1
									ë						1
				24L 21 //4				.51			₩.	21 _ GO			
				設計-69				36	5		設	計一69			

区分	ページ	現 行	改定	備者
第2部	設計-70	3) 現況確認	3) 現況確認	
魚港関係工		現況雜認(整備) 1 km当9 【 DHE 80200 】	現況確認(<u>新規</u>) 1 <u>進・地区</u> 当9 【 DHE80200 <u>DHE80220</u> 】	
事積算基準		名称 形状寸法 単位 数量 擴要	3.11 U.G. HARLES CHARLES CHARLES CONTROL CONTR	
標準歩掛		交 通 車 ライトバン 2 を 日 1.0 運 2 h / 就 8 h 技 師 (B) 人 1.0 ①	THE STATE OF THE S	システ
		技 師 (B) 人 1.0 ① 技 術 員 人 1.0 ②	(1-19-05) L.C L.C MICHEL 1000-1-18	移行に伴
第4章		雑 材 料 % 1.0 上記①、②を対象	(中規模) 用·MES 1.5 1.6 # 2.000(21.5),000(#3数	全面改
終委託の		G P S 損 料 VRS-RTK方式 日 1.0	(大規模) 2.0 2.0 # 4.000(2.18,000)(3)	上面以
		V R S 補 正 情 報 · 通 信 科 日 1.0	.(数大规模). 4.8 4.8 4.8 4.8 4.8 (20 to 1) (20 to	
施工歩掛		撮影機器搭載UAV(n° 279-达) 日 1.0	現地務要 (海岸保全施設) (DHE 802 (0) 支必要に応じて計上	
		注)1. 現場条件により、交通船による移動を必要とする場合には、別途交通船を計上する。	Linkle Link Que Que Lincoll de la lincoll de	
1400		2. 原則として、GPS測量機、UAV併用を標準とするが、施設の状況や現場条件によりUAVの飛行が行えな	(太規模) 2.9 2.9 L000-版主大は19版202上	
設計業務		い漁港においては、目地毎、特徴点毎にGPS測量機を用いた計測を行う。 3. UAVは、「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」に準じた機体とする。	1.5 3.0 施設委員 1.00mm 1.5 3.0 1.5 3.0 1.5 3.0 1.5 3.0 1.5 3.0 1.5 3.0 1.5 3.0 4.0 3.0	
積算基準		a. CANA、TURYで用いた公共関単におか、来月に申した政体とする。	(小:生現板) 3.8 施設延長4.000mを適 (大規模) 3.9 5.0 # 4.000mには8.000mを適	
以开丛十		4) オルソ画像作成	(6大規模) 4.0 8.0 # 8.006以 20.006 長衛	
t EEL Viet vlot		4.) a ルク 側 (家 TF/7文	交通車 日 (技術Bに同じ) ライトバン20、運2h/航8h	
用資料-10 ▮		オルソ画像作成(整備) 【 DHE80250 】	無材料 光 は 上記が5、機械機料を含む	
・漁港海岸		区分数量单位直接人件費擴要	(1) 1. 施設延長は食帳上の漁港施設延長の合計とする。	
電子台帳		主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員	 適准施設延長20,000m以上の場合は別途見機によること。 	
整備・更新 ▮		オルソ画像作成 1 港 0.6 1.1	3. 現場条件により、交通船による移動を必要とする場合には、別途交通船を計上する。	
		注)UAV空操を行った場合に計上する。	1. マルチコブターは、「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」等に準じた機体とする。	
		5) 漁港・漁港海岸台幔データベース作成		
		A DIFFERENCE T	4) 並基オルソ画像作成	
		漁港・漁港海岸台帳データベース作成(整備) [DHE80300]	<u>商品</u> オルソ画像作成 <u>(新型)</u> [DHE80250]	
		区 分 数量 単位	区分 単位 散集 摘要	
		渔港,渔港海岸台帳	競馬オルソ画像作成 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員	
		データベース作成 1 港 0.8 1.4	(小中規模) 1.0 2.0 施設抵抗1000-12機	
			(A.188) (A.188) L.	
		6) 漁港・漁港海岸カルテ作成	(数太規則) 2.0 6.0 7.8,000m以上 提供計 2.6 10 上版の第	
		適港・適港海岸カルテ作成(整備) 【 DHE 80400 】		
		200 420 1 564 496		
		区 分 数量 単位 <u>直 接 人 件 費</u> 摘 要 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員		
		漁港・漁港海岸		
		カルテ作成 1 港 0.5		
		数計-70 366	\$9.84 — 70	
		設計-70 366	設計-70	

区 分	ページ	現 行	改定	備考
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛 第4章 業務委託の	設計-71	7) 施設カルテ作成(整備) 【DHE 80500 】 区分 数量 単位 直接 人件費 摘要 施設カルテ作成 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 施設カルテ作成 1 港 0.7 1.9 3.0 8) 漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成 漁港・漁港海岸平面図(GIS)作成(整備) 【DHE 80600 】	5) 漁港・漁港海岸台帳データ作成 漁港台帳データ作成(新費) 1 港・地区当り 【DHE 80300 】 区分 単位 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 (小中規模) 1.0 1.5 1.0 2.0	システム 移行に伴う 全面改定
施工歩掛 1400 設計業務 積算基準		区分 数量 単位 直接 人件費 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(B) 技術員 漁港・漁港海岸平面図 (GIS) 作成(整備) (RTK-GPS計測のみにより平面図データを作成する場合) 【DHE80601】	1	
軍用資料-10 漁港・漁港海岸 電子台帳 整備・更新		区分 数量 単位 直接 人件費 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(B) 技術員 漁港・漁港海岸 平面図 (GIS) 作成 1 港 0.8 1.4 9) 関連データ作成 関連データ作成(整備) 1港当り 【 DHE80701 ~ DHE80707 】	1	
		区分 数量 単位 直接 人件費 主任技師 技師(A) 技師(B) 技師(C) 技術員 水城管理データ 1 港 0.7 1.6 深浅測量データ (砂 浜 城) 回 0.3 1.0 深浅測量データ (岩 磯 城) 0.3 1.2	本学・	
		 地質調査データ 10 孔	本任技師 技師(A) 技師(B) 技術員 指導を 表情長 接続 技術員 表情長 表情長 技術員 表情長 表情 表情 表情 表情 表情 表情 表	
		2. 老朽化調査データは、簡易調査(簡易)、簡易調査(重点)の実施回数合計として計上する。詳細調査は単独で実施した場合のみ計上する。 設計-71 367	注)1. 庭賀調査、その他調査は1調査=1回としてカウントする。 (ex l件の委託で春、秋に調査を行っている場合は2回、調査地点数は問わない) 2. 老朽化調査データは、簡易調査(簡易)、簡易調査(重点)の実施回数合計として計上する。 詳細調査は単独で実施した場合のみ計上する。 設計-71	

			備考
第2部 無 無 精 類 基 標 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章	10 システム整録・調整 単位 直接	************************************	システム 移行に改定

区 分	ページ		現 行		改定	備考
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛 第4章 業務委託の 施工歩掛	設計-73	2-2 業務内容 システムの構成 関連データについ なお、本システ	子台帳更新 漁港海岸の電子台帳システムの更新を行う場合に適用する。 要素である漁港・漁港海岸平面図(GISデータ)、漁港・漁港海岸カルテ、施設カルテ及び て、各種資料および現況確認からデータを更新修正し、システムへの登録を行う。 ムで利用するソフトウェアは、Cadcoap社のSIS ActiveX®(Ver6.2、Ver7.0、Ver7.1)を マイズしたものである。	なお、本 <u>自帳</u> <u>を使用している</u> 2-2 業務内容 システムの橋 データを更新修 <u>作成する資料</u>	・漁港海岸電子台帳システムのデータ更新を行う場合に適用する。 は(公社)全国漁港漁場協会が運営する「漁港情報クラウドシステム(以下、システム)」	システム 移行に伴っ 全面改定
		名称	業務内容	سنستشتشت		1
1400		計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成	2-3 作業区分		
設計業務		The deal size Also date will	TO SECOND	名称	業務內容	1
積算基準		資料収集整理	データベースに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。収 集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。 なお、各種資料の貸与・返却は、打合せ時に直接渡し、あるいは郵送等による送 付を基本とする。また、収集する資料の内、電子データが存在するものについて	計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成 する。 システムに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。	
軍用資料−10 注港・漁港海岸			は、電子データ (Excel、Word等) を基本とし紙媒体資料の収集は不要とする。 【資料】		収集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。 衰弱の資気・提供は第子データを提携とする。なお印刷媒体変質の資気・返却は 資産時の直接費し、あるいは多尾便等による減位を基本とする。	
電子台帳 整備・更新			漁港台帳、漁港施設台帳、深浅測量図、各種調査資料、工事設計書、安定計算書、 委託報告書、その他データの更新に必要な資料	現況確認	現実対象透視において、以下の現界資製作業を実施する。	
		現況確認	対象漁港において、デーク更新が必要な施設について、漁港・漁港海岸電子台帳整備における現役確認作業に準じて、現役確認作業を実施するものであり、更新対象施設を含む適切な範囲について簡易オルソ画像を更新するため、UAVによる複数方向からの空景を行う。 なお、これらの作業のうち、位置座標の計測については、原則として1級GPS測量機を用いたVRS-RTK方式により行うこととする。 また、現役写真の撮影については、100万画素以上のデジタルカメラ(保存画像ファイル:1280×960ピクセル)により行うこととする。		○SSA関係を用いたネットワーク製匠K方式により、連携施設、連進海岸保全施設の手頭形状及び医院高の計測を行う。 ② 思用語言(写真服影) デジタルカノラ第により通捷施設の写真撮影を行う。なお、写真標準サイズは2560×1920を原則とし、大きく兼御しないよう留意する。 連携基本施設である外類・保置施設及び海岸保全施設については、施設全体形状及び構造や特徴がわかるように施設全域、展面質に経験点からの図真を撮影するとともに、スパン仮の図真を撮影する。 連携機能施設のうち、水産基盤施設機能保全計画の対象となる適路については施	
		修正オルソ画像作成 漁港・漁港海岸台帳	UAVにより撮影した写真から、地上分解能3cm程度のオルソ距像を作成する。 漁港台帳、漁港施設台帳、漁港海岸区城台帳、漁港海岸保全施設台帳について、		設全美工真。及び起於点、交差点ごとに写真撮影を行う。 	
			データ作成、直近のデータ更新以降のデータをシステムに、追加・更新する。		看板、航路標識等航行補助施設、安全灯・灯槽、池港原点、工事基準点について	
		漁港・漁港海岸 カルテ作成	漁港・漁港海岸カルテに入力されている下記のデータについて、追加・更新を行う。 ・事業計画関連資料(特定計画資料、長期計画資料、費用対効果分析資料、機能保全計画書他) ・港勢関連資料(港勢調査、港別資料、土地利用計画等) ・占用台帳 ・利用許可船舟データ ・その他(集害履歴、淡漢履歴、公有水面埋立許可申請資料他)	原見 オルソ画像作品	は、施設全景及び構造・特徴のわかる写真を報告する。 ③ マルチコズター計画(変数)。 進進区域内企業の簡易オルソ画像を使成するため、マルチコズター・DX等による変生写真関数を行う。 次 マルチコズター計画で取得した画像より、写真測量ンストウェアを用いて連違区域全域の簡易オルソ画像を作成する。簡易オルソ画像の作成にあたっては、GXS計画を行った計画点を野宝点として空機画像の解析/会成を行う。	
			設計-73 369		設計-73	

漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正 適用年月日 (令和6年(2024年)8月1日以降積算基準日適用) 現 行 改 定 備考 区 分 ページ 第2部 設計-75 2-4 積算ツリー 2-4 積算ツリー 漁港関係工 漁港・漁港海岸 設計業務委託 漁港・漁港海岸 設計業務委託 漁港・漁港海岸 漁港・漁港海岸 計画準備 事積算基準 電子台裝整備・更新 電子台帳更新 電子台峻整備,更新 電子台帳更新 標準歩掛 賣 科 収 集 整 理 資料収集整理 システム 移行に伴う 現 况 滩 現况確認 第4章 全面改定 業務委託の 修 正 オ ル ソ 画 像 作 成 **原基オルソ画像作成** 施工歩掛 渔港·渔港海岸台帳 基本更近テータ作成 1400 一連港・漁港海岸 カルテ作成 設計業務 関連テータ作成 積算基準 施設カルテ作成 システム登録 運用資料-10 漁港・漁港海岸平面図 (G I S) 作 成 成果取りまとめ 漁港・漁港海岸 電子台帳 関連データ作成 昭杰 整備•更新 打合社 設計協議 佐 録 · 調 整 成果取りまとめ 直接経費 工種体系化の手引き 業務工種体系化構成表 直接餐費 工種体系化の手引き 業務工種体系化構成表 371 設計-75 設計-75

区 分	ページ			現	行						改	定				備
第2部	設計-76	2-5 数量計算等						2-5	效量計算等							
	рун то	中区分		小 区 分	単位数量		摘要		中区分			小区分		単位	摘要	
漁港関係工		漁港・漁港海岸		200100000000000000000000000000000000000	式			16 1桂。	漁港海岸電子台帳更新	計由中	机備			式		1
事積算基準		電子台帳更新	資料収集整	判	進					資料市	又集整理			港上地区	4	1
標準歩掛			現況確認		港					現記前	118			港土地位		シ
			修正オルツ	画像作成	20)					10.55	ルン画像	作成		港・地区	9	
55 4 35			渔港・漁港	海岸	244					36.4.2	Ut.Z2	作成		港・地区	2	移行
第4章			台帳データ・	ペース作成	港			1 1		関連ラ	データ作成	老朽化調查?	- 4	State .		全
美務委託の			而进。而违	海岸カルテ作成	池							水域管理 []	データ	[11]		1
施工歩掛			施設カルテ	作成	工业							深浅測量デー		[57]		1
			渔港・渔港	海岸平面図(GIS)作成	進							地質調査デー		રા.	10孔当立	1
1400					15							会世 調査デー		[17]		
1400			関連データ	水域管理データ	詞							並遊成果了二	2	##	105.50	1
設計業務			作級	深浅測量データ	[11]					100000	ムを録す			港上地位		
積算基準				地質調査データ	23L					112-4-62-12	なりまとめ			大		
成开 公 十				庭質調査データ	[6]					照查				先		
				その他調査データ	[6]				Wilder of the							
重用資料-10 ▮				委託報告書	M)			2-6	準歩掛							
港・漁港海岸			121272-1221	老朽化調査データ	п			1) #+	可準備							
電子台帳			システム登	COLUMN TO SERVICE STATE OF THE	港			40.00	to be seen as a common of						r susating 1	1
			成果取りま	とめ	大			7 1 1 1	準備(更新) 1式共享	_			16		[DHE81100]	1
整備・更新			既古		太				区分	単位	-2-7° 81-65	技師(A) 技師	(n) teras	or I means	摘要	1
		0 6 18 4 15 111						Set. 1007 100	799				(B) 技師((2) (支押)	II.	1
		2-6 標準歩掛						計画的	回 一タ更新のみの場合に通	用卡克	2.5	0.5				
		1)計画準備						GL7 2	> Chianasasan Bicin	Mi a -n	~					1
		計画準備(更新	N.				[DHE81100]	1								
				in the	接 人	件	患	2) 🚊	料収集整理							1
		区分	数量	10.07		皮師(C)	技術員 摘 要	1964 344	to Market and Coloradors							1
		#F #G 79	獨 1		. 7	CM-1-	LC m.sec	資本	収集整理(更新)		1				[DHE81200]	1
		注)データ更新の							区分	単位			A DECEMBER	at Notes	摘要	1
		COLUMN 25 411 57		1978 J. 180				200.00	On the sea		主任技師	技師(A) 技師	(6) 技師		_	
		2) 資料収集整理	4					-	集整理	<u>ئە</u>		<u>0.5</u>		1.0		
			Const. Sect.						Contract to the second	11.	DIST of the second	A resident for the second	eticule v. u. i	4. REFRIENDED	2.1	
			数量 整理 1 整理は、原則 所より資料収		(A) 技師(B) 技 . 3 協議時に実施するこ	皮師(C)	0.6 LTZ	2	- 資料収集整理は、原則 - 複数の箇所より資料収 上する。							
				設計-7	6		372				設	計 — 76				

区分	ページ				現 	行								-		備者
第 2 部 漁港関係工	設計-77	3) 現況確認	May 12							F04000 \$	3) 現況確認				A NUTSUAGO DUTAGOS I	
		現況確認(更新) 1	他当り	1 -	int day at his	184 742	N/r	m.	i DH	E81300]	現況確認(更新) 1港	・地区当り	**	40.	[DHE81300, DHE81305]	1
事積算基準		交通車		_	形状寸法トパン2ℓ	単位	数:		10 安 (2 h / 就 8		<u> 2011</u>	11.1K	在任代前 排煙(A). 打造	Sides (See or) tests	地型	
標準歩掛		技師 (B)		7.7.1	112.54	人	0.			n	更新施設GNSS計劃、写真複			£ 0.5		システ、
		技術員				人	0.)		マルチコブター計画(空間					移行に伴
第4章		維材料				%	1.	0 1	記①、②を	対象	(小中規載)	4:105	1	å 3.0	Market St. Courts &	全面改
		GPS指料		VRS-R	TK方式	EI -	0.	8			(大規模)		2	0 6.0	# 4,000m以上8,000m共而	全面以)
美務委託の		VRS補正情報・通	信料			H	0.	8			(特大規模)			0 8.0	***************************************	
施工歩掛		撮影機器搭載UN(ハラ				Н	0.				交通車	H	<u>Utilit</u> u		ライトバン20、通2h/就8h	
		注)1. 現場条件によ	COLUMN TERM							ii.	all t	<u> </u>	1		上配の場。原外則具を含む	
1400		2. UAV空撮米実施 「1 漁港・漁								-{ I	 注) 1. 施設证券以台帳 2. 施設证券20,000; 			Later Land		1
1400		3. 原則として、(-	111111111111111111111111111111111111111						行が行えか	3. 空撮未実施の漁			行いオルソ画像を	作成する場合には	1
設計業務		い漁港におい								-1. / 1. / C. N			1-6 標準歩掛 3)			
積算基準		なお、UAV空振							不要。		1. 浚渫のみの工事				維持補修工事	1
		4. 液濃のみの工	事、附属	工(防护	は材、滑り材等	争)、形状	変更を伴わ	かない維持補	修工事		0.000		場合は現況確認を計		与小棒体队协与) eschadors	1
		(消耗品交換、									The second secon				定の構造単位毎)完成時に 現況確認を行わない)	1
壓用資料-10 ▮		5. データ更新に									6. 現場条件により、					1
港・漁港海岸		現况調査を行							認を行わな	(,")	7. マルチョブター					
電子台帳		6. UAVIJ, 「UAVE		公共測量	マニュアル (漢	8)](CIE [た機体とす	*る-								
整備・更新		4)修正オルソ画像作品	nc.								4) 競易オルソ画像作成					1
金畑・史利		修正オルソ画像作成	(更新)						(DH	E81310]	意思オルソ画像作成(3	(新)			[DHE81310]	
		区分	数量	単位			直接人件費	?		摘要	区分	単位		#	簡要	
		15.22	47.45	10 122	主任技師 打	支師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	199.50	競長オルソ画像作成	1	主任技師 技師(A) 技師		III.	
		修正オルソ画像作成	1	港			0.3	-22100	0.5		(小中規模)	Mr. 46-17		1.0 2.0		1
		注)UAV空根を行った場									(大規模) (特大規模)	港·地区		2.0 6.0		1
		する場合には、「1	漁港・漁	港海岸台	o 帳整備 1−6	標準步	針 4) 才	ルソ画像作	或(整備)」を	/用いる。	MUSE	96	1	0		
		5) 漁港・漁港海岸台	帳データ	ベース	更新							行った場合に割	上する。 オルソ画(東来作成漁港につい	て、更新時にオルソ画像を	
		漁港・漁港海岸台帳	ee 21	100	eb / mr bc v				f DU	E81320]	初めて作成する場合に を用いる。	は、「1 漁港	・漁港海岸台帳整備	1-6 標準歩掛	4) オルソ画像作成 (新規) 」	
		DATE TO THE DEPT OF THE	Cartifical Co.		ACTIC #0.1		直接人件費	5	į un	E01320 1	The state of the s					1
		区分	故量	単位	主任技師 打				技術員	摘要	5) Lieumida				Vaccentor	
		漁港・漁港海岸台帳	-		3513.1830 1	Kinh (127)	12.00 (12.2	12,000,007	DC HILLS		基本更新データ作成。	1.86 · 1018.85 ·	1	er. 10	[DHE81320]	
		データベース更新	1	港			0.1		0.2		区分	単位	主任技術 技術(A)	tolico Italico It	/ 摘要	
											工事展账债券作成	工事	3212390 120000		A.S. 没JQ工事而及	
		6) 漁港・漁港海岸カ	ルテ更報	ŕ							施政更新情報作成	Ni 22		200	LE RIOTATE	
											その触更新情報作成	進・地区			. 5 - ※10工事当 0	
		漁港・漁港海岸カル	テ作成(更新)					[DH	E81500]	平面図更新データ作成	港・地区		9.2	6 必要に応じて計上	
		区分	炊量	単位	4145441441		直接人件費		1 (0.00000	摘要	水域電影データ作成	Bills	•		.0	
					主任技師 1	(A)	技師(B)	技師(C)	技術員						LE CONTRACTOR CONTRACTOR	1
		漁港・漁港海岸	1	港			0.2		0.4		<u>ettunu</u>	KM.			al salitable all	1
		カルテ更新		15					4/1.51		注)。データま作成の通過	1/2/6/	N. 1. 0 册 2 II 所 以 2			1
																1
					50. 01.	77				373			an al. gg			1
					設計一	-11			,				設計-77			1

区 分	ページ	現 行	改定	備
第2部 連港関係工 連帯算基準 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章 第4章	設計-78	「	1. 底質調査データ 回 0.1 0.2 立 1.5 立 1.5	シ 移行 全i
種用資料−10 港・漁港海岸 電子台帳 整備・更新		9) 関連データ更新 区分 数量 単位 直接人件費 直接人件費 摘要 水域管理データ 1 回 0.1 0.3 1.0 深浅測量データ 1 回 0.3 1.0 深浅測量データ 1 回 0.3 1.2 地質調査データ 1 回 0.2 0.6 座質調査データ 1 回 0.2 0.5 その他調査データ 1 回 0.2 0.6	大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	
		委託報告書 10 期 0.1 0.2 老朽化調査データ 1 回 0.6 1.4 1. 低質調査、その他調査はL調査=1回としてカウントする。 (ex 1件の委託で春、秋に調査を行っている場合は2回、調査地点数は問わない) 2、老朽化調査データは、簡易調査(簡易)、簡易調査(重点)の実施回数合計として計上する。 詳細調査は単独で実施した場合のみ計上する。 設計-78 374	(五分 単位	

区 分	ページ	現 行	改定	備考
漁事標 業施 設積 用き電備 2 関算歩 年 4 委歩 14 計算 資漁 子・ 14 計算 資漁 台東 14 を 14 で	設計-79	Total State	2-7 設計協議	システム移行に伴っ全面改定
		設計-79 375	設計-79	

運用資料-10 漁港·漁港海岸電子台帳整備·更新

1 漁港・漁港海岸電子台帳整備

1-1 適用範囲

本項は、漁港・漁港海岸電子台帳システムの新規データ整備を行う場合に適用する。

なお、本台帳は(公社)全国漁港漁場協会が運営する「**漁港情報クラウドシステム**(以下、システム)」 を使用している。

1-2 業務内容

システムの構成要素である漁港・漁港海岸台帳データベース、漁港・漁港海岸平面図及び関連データ について、各種資料および現況確認からデータを作成し、システムへの登録を行う。

作成する資料の種類、規格の詳細については、(公社)全国漁港漁場協会が定める「**漁港情報クラウド** システムの運用等に関する実施要領」および「**漁港情報クラウドシステム新規データ整備業務特記仕様書**」 に準拠する。

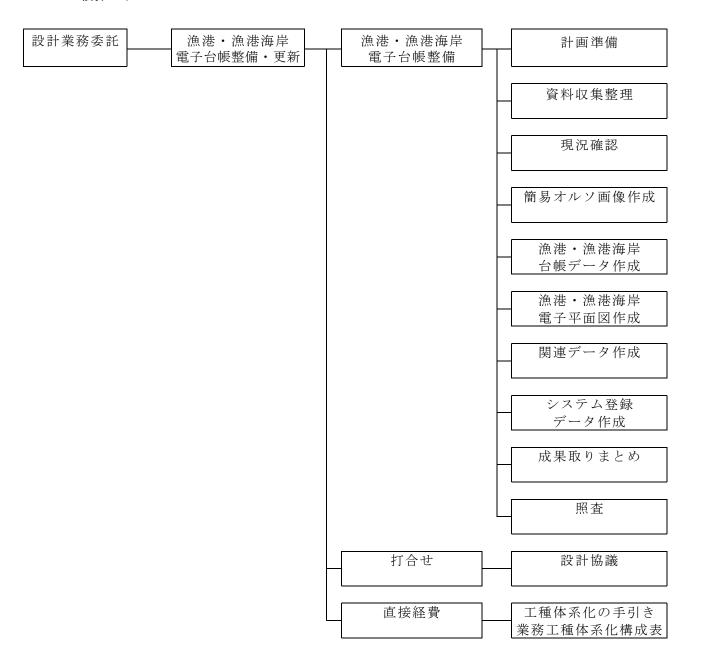
1-3 作業区分

名称	業務内容
計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成
	する。
資料収集整理	システムに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。
	収集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。
	資料の貸与・提供は電子データを標準とする。なお印刷媒体資料の貸与・返却は
	協議時の直接渡し、あるいは宅配便等による送付を基本とする。
現況確認	調査対象漁港において、以下の現況確認作業を実施する。
	①現地踏査 (GNSS 計測)
	GNSS測量機を用いたネットワーク型RTK方式により、漁港施設、漁港海岸保全施設
	の平面形状及び天端高の計測を行う。
	②現地踏査 (写真撮影)
	デジタルカメラ等により漁港施設の写真撮影を行う。なお、写真標準サイズは
	2560×1920を原則とし、大きく乖離しないよう留意する。
	漁港基本施設である外郭・係留施設及び海岸保全施設については、施設全体形状
	及び構造や特徴がわかるように施設全景、断面毎に起終点からの写真を撮影すると
	ともに、スパン毎の写真を撮影する。
	漁港機能施設のうち、水産基盤施設機能保全計画の対象となる道路については施
	設全景写真、及び起終点、交差点ごとに写真撮影を行う。
	漁港施設用地、漁港管理者が設置、管理を行う建築物や各種漁業関連設備、漁港
	看板、航路標識等航行補助施設、安全灯・灯標、漁港原点、工事基準点について
	は、施設全景及び構造・特徴のわかる写真を撮影する。
	③マルチコプター計測 (空撮)
	漁港区域内全域の簡易オルソ画像を作成するため、マルチコプター・UAV等による
	空中写真撮影を行う。

名称	業務内容
簡易オルソ画像作成	マルチコプター計測で取得した画像より、写真測量ソフトウェアを用いて漁港区
	域全域の簡易オルソ画像を作成する。簡易オルソ画像の作成にあたっては、GNSS 計
	測を行った計測点を評定点として空撮画像の解析/合成を行う。
漁港・漁港海岸	システムに登録する漁港台帳を構成する以下のデータを標準フォーマットに従っ
台帳データ作成	て作成する。データ間の連携により位置を明らかにできる場合は、それらを関連付
	けるためのデータ作成も併せて行うものとする。
漁港・漁港海岸	現況確認結果などから、システムに登録するための GIS 形式の漁港電子平面図デ
電子平面図作成	ータを作成する。
(漁港)	①平面図データ
	漁港電子平面図上に作図する対象については、各法令に基づく調製要領に準拠す
	る。作図は標準フォーマット、システム現地調査の手引及びシステムデータ作成・
	更新の手引に従って平面直角座標系を用いて行うこととし、施設毎に指定するデー
	タ種別(点データ、線データ、ポリゴンデータおよび文字データ)にて描画し、必
	要な属性データを付与する。
	また、外郭、係留、海岸保全施設等でスパン目地を有するコンクリート構造物につ
	いてはGNSS計測データ、簡易オルソ画像データから目地位置を判別し、スパン毎の
	ポリゴンデータも併せて作図する。平面図データの背景となる地形地物(等高線、
	等深線、道路、河川等)、建物、界、基準点(水準点、三角点)、空中写真、現況
	確認によるオルソ画像等について、GIS形式のデータを作成する。なお、これらの情
	報のうち、海岸保全区域内等の土地境界データで、発注者が指定するものについて
	は登記情報についても入力を行う。
	②水域施設データ
	水域施設範囲を明示可能な場合には、発注者より提供される泊地、航路、漁具管理
	水域それぞれの範囲が明確に分かる資料に基づき、水域施設データを作成する。
	③漁港施設用地利用計画データ
	漁港施設用地等利用計画を作成する場合は、各法令に基づき利用計画平面図データ
	の作成を行う。作成にあたっては漁港施設の中分類の区分ごとの色分け、用地造成
	または取得方法に応じたハッチングデータをそれぞれ作成する。
	④海岸保全施設データ
	漁港電子平面図上に作図する漁港海岸保全施設については、漁港施設と同様、各法
	令に基づく調製要領に準拠し、漁港施設と同様の手順、方法により作図する。
	なお、漁港海岸保全施設台帳を作成しない場合は、外形線ポリゴン、スパンポリゴ
	ンの作成は不要であり、簡易オルソ画像より施設形状を形状線データにて作成する。

名称	業務内容
漁港・漁港海岸	漁港海岸保全区域台帳をシステムに登録する場合には、漁港海岸保全区域台帳を
電子平面図作成	構成する以下のデータを標準フォーマットにしたがって作成する。データ間の連携
(漁港海岸)	により位置を明らかにできる場合は、それらを関連付けるためのデータ作成も併せ
(IMTE III)	て行うものとする。
	⑤漁港海岸保全区域台帳データ
	漁港海岸保全区域台帳に記載されている各項目について、第一表(裏・表)、第
	二表それぞれのデータ作成を行う。
	⑥標準断面図データ
	漁港海岸保全施設について、該当する標準断面図データ、横断面図データの電子化
	を行う。
	⑦水準面図データ
	漁港毎に、該当する水準面図データの電子化を行う。
	⑧施工履歴データ
	年度毎の工事実績調書に基づき工事毎のデータ作成を行う。工事関係資料から工事
	平面図、標準断面図、縦断図、設計図書、安定計算書、完成写真を電子化し、デー
	タファイルを作成する。図面データは原則として電子成果品媒体から必要なデータ
	の抽出を行うが、紙媒体しか入手できない場合はスキャニングにより電子化する。
関連データ作成	収集した資料から、漁港・漁港海岸事業に関連する各種の調査・検討資料に基づ
	きシステム登録データを作成する。
	①老朽化調査データ
	老朽化調査(簡易項目、重点項目、詳細調査等)について、「機能保全計画策定
	の手引」等に基づく施設点検結果及び現況/変状写真を整理し、システム登録データ
	を作成する。
	②水域管理データ
	水域施設(泊地、航路等)における浚渫工事の情報について、システム登録デー
	タを作成する。
	③深浅測量データ
	深浅測量データ(図面または電子データ)から等深線のベクトルデータを作成する。
	④地質調査データ
	既往の地質調査の結果から、ボーリング柱状図のデータを作成しシステムに入力する。
	⑤各種調査データ
	波浪・流況調査、水質・底質調査、その他の各種自然環境調査等、漁港整備に関
	する各種調査結果に基づき、システム登録用データを作成する。
	⑥業務成果データ
	既往の委託報告書電子成果品、印刷媒体からのスキャニング PDF データからシステ
システム登録	ム登録用データを作成する。 システムに変換・登録可能なデータセットを作成する。作成したデータセットー
· ·	
データ作成 成果取りまとめ	式は、指定形式にて漁港(地区)毎に提出し、審査を依頼する。 作成したデータセット一式をメディアに取りまとめ、成果および作業内容につい
从本以りよこの	作成したアーダビット―氏をメディデに取りまとめ、成来ねよび作業内谷につい ての報告書を作成する。
照査	入力を行った各種データについて原版と比較検証を行い、入力内容およびシステ
<i>™</i>	ム上の表示内容に不備が無いか照査を行う。
	マニッダ小には(には、畑の二次にの二次目で)11 / 。

1-4 積算ツリー



1-5 数量計算等

中区分		小区分	単位	摘要
漁港·漁港海岸電子台帳整備	計画準備	式		
	資料収集整理		港・地区	
	現況確認		港・地区	
	簡易オルソ画像作	三成	港・地区	
	漁港・漁港海岸台	対帳データ作成	港・地区	
	漁港・漁港海岸電	這 子平面図作成	港・地区	
	関連データ作成 老朽化調査データ		施設	
		水域管理(浚渫)データ	□	
		深浅測量データ	口	
		地質調査データ	孔	10孔当り
		各種調査データ	□	
		業務成果データ	₩	10冊当り
	システム登録デー	-タ作成	港・地区	
	成果取りまとめ		式	
	照査		式	

1-6 標準歩掛

1) 計画準備

計画準備(新規) 1式当り

[DHE80000]

区分	単位		摘要				
	+111	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	一加女
計画準備	式	1.0	1.5				

注) 電子台帳の整備と更新を同時に実施する場合は、整備にのみ計上する。

2) 資料収集整理

資料収集整理(新規) 1港・地区当り

[DHE80100]

区分	単位		摘要				
	712	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	加女
資料収集整理	港・地区		0.5	1.0		1.2	

- 注) 1. 資料収集整理は、原則として初回協議又は中間協議時に実施することを原則とする。
 - 2. 複数の箇所より資料収集を別途実施する必要がある場合には、適宜、旅費(技師(B)、技術員)を 計上する。

3) 現況確認

現況確認(新規) 1港・地区当り

[DHE80200~DHE80220]

		用任			数量			摘要			
	右	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘 安			
現均	也踏査										
	(小規模)				1.0		1.0	施設延長2,000m未満			
	(中規模)	港・地区			1.5		1.5	" 2,000m以上4,000m未満			
	(大規模)				2.0		2.0	″ 4,000m以上8,000m未満			
	(特大規模)				4.0		4.0	″ 8,000m以上20,000m未満			
現均	也踏査(海岸保全施設)		(DHE80210)				※必要に応じて計上				
	(一般)	区域			0.5		0.5	1,000m以下かつ10施設未満			
	(大規模)				2.0		2.0	1,000m超または10施設以上			
マル	レチコプター計測(空撮)			(D	HE80220)		※漁港・海岸の合計延長			
	(小・中規模)	港・地区			1.5		3.0	施設延長4,000m未満			
	(大規模)	他。地区			3.0		6.0	″ 4,000m以上8,000m未満			
	(特大規模)				4.0		8.0	〃 8,000m以上20,000m未満			
交ì	通車	目	(技師Bに同じ)				ライトバン20、運2h/就8h				
雑材	才料	%			14		14				

- 注) 1. 施設延長は台帳上の漁港施設延長の合計とする。
 - 2. 漁港施設延長20,000m以上の場合は別途見積によること。
 - 3. 現場条件により、交通船による移動を必要とする場合には、別途交通船を計上する。
 - 4. マルチコプターは、「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」等に準じた機体とする。

4) 簡易オルソ画像作成

簡易オルソ画像作成(新規)

[DHE80250]

区分 簡易オルソ画像作成		単位			数量	摘要		
		7111	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	加 女
	(小中規模)					1.0	2.0	施設延長4,000m未満
	(大規模)	港•地区				1.5	4.0	″ 4,000m以上8,000m未満
	(特大規模)					2.0	6.0	# 8,000m以上
雑材料		%			10			上記の%

5) 漁港・漁港海岸台帳データ作成

漁港台帳データ作成(新規) 1港・地区当り

[DHE80300]

	区分	出任			数量	摘要		
漁	港台帳データ作成	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	加安
	(小中規模)				1.0	1.5	3.0	施設延長4,000m未満
	(大規模)	港・地区			1.5	2.0	4. 5	″ 4,000m以上8,000m未満
	(特大規模)				3.0	4.0	9.0	″8,000m以上20,000m未満

漁港海岸保全区域台帳データ作成(新規) 1区域当り

[DHE80400]

	区分 海岸台帳データ作成				数量			海田
海			主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	適要
	(一般)	더류			0.5	0.7	1.5	施設延長1,000m以下かつ10施設未満
	(大規模)	区域			0. 7	1.0	2.0	施設延長1,000m超または10施設以上

6)漁港·漁港海岸電子平面図作成

漁港電子平面図作成(新規) 1港・地区当り

[DHE80500]

	区分	光片			数量	按冊		
漁	港電子平面図作成	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
	(小中規模)			0.5			1.0	施設延長4,000m未満
	(大規模)	港・地区		1.0			1.5	〃 4,000m以上8,000m未満
	(特大規模)			2.0			3.0	〃 8,000m以上20,000m未満
水	域施設データ作成	港・地区				0.3	1.0	※必要に応じて計上
漁	港施設用地利用計画データ作成	港・地区				0.5	1.5	※必要に応じて計上

漁港海岸電子平面図作成(新規) 1区域当り

[DHE80600]

	区分	単位			数量			松田
海	海岸保全施設電子平面図作成		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
	(一般)	다찬		0.3			0.5	施設延長1,000m以下かつ10施設未満
	(大規模)	区域		1.0			1.5	施設延長1,000m超または10施設以上

7) 関連データ作成

関連データ作成(新規)

[DHE80701 ~ DHE80706]

区分	単位		Ī	摘要			
四月	平江	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	间女
老朽化調査データ	施設				0.1	0.2	
水域管理(浚渫)データ	口				0.2	0.3	
深浅測量データ	□				0.5	1.0	
地質調査データ	孔				0.2	0.5	※10孔当り
各種調査データ	口				0.5	1.5	
業務成果データ	冊				0.1	0.2	※10冊当り

注) 1. 底質調査、その他調査は1調査=1回としてカウントする。

(ex 1件の委託で春、秋に調査を行っている場合は2回、調査地点数は問わない)

2. 老朽化調査データは、簡易調査(簡易)、簡易調査(重点)の実施回数合計として計上する。 詳細調査は単独で実施した場合のみ計上する。

8) システム登録データ作成

システム登録データ作成(新規) 1港・地区当り

[DHE80800]

EZΛ	从任		直	接人件	貴		松田
区分	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
システム登録データ作成	港・地区		0.5		1.5	3.0	

9) 成果取りまとめ

成果取りまとめ(新規)

[DHE80900]

E /\	光子		直	接人件	B)		松田
区分	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
成果取りまとめ	式	0.5	1.0		2.0	2.5	

注) 電子台帳の整備と更新を同時に実施する場合は、整備にのみ計上する。

10) 照查

照査(新規) 【 DHE81000 】

E /\	从任		直	接人件	事		松田
区分	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
照査	式	1.0			1.5		

注) 照査は3回の実施を標準とする。

1-7 設計協議

「土木事業委託積算基準(設計編)[1]設計業務委託積算基準」を適用する。

初回、納品時の2回を標準とし、特別の理由により必要な場合には中間協議を計上する。

1-8 事務用品費

事務用品費は、直接人件費の1.0%を標準とする。(ただし、照査、設計協議の人件費は除く)

1-9 報告書

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、

「土木事業委託積算基準 (設計編) [1] 設計業務等委託積算基準 1-6 電子成果品作成費」による。

1-10 電子計算機使用料

電子計算機使用料は、以下を標準とする。

区分	規格	単位	数量	単価	摘要
データ登録電算経費		%	6. 5		直接人件費の率
審査料	施設延長4,000m未満	式	1	300,000	施設延長の合計
田 旦 科	施設延長4,000m以上	IV.	1	400, 000	(海岸を含む)
ID・PW発行手数料		式	1	3,600	

- 注)1. データ登録電算経費は、「1)計画準備」から「8)システム登録データ作成」までの 直接人件費を対象とする。
 - 2. 受託者の責に因らない事象により、複数回分の審査料が必要となった場合は別途考慮する。
 - 3. ID・PW発行手数料が不要となった場合は、設計変更で減工すること。

2 漁港・漁港海岸電子台帳更新

2-1 適用範囲

本項は、漁港・漁港海岸電子台帳システムのデータ更新を行う場合に適用する。

なお、本台帳は(公社)全国漁港漁場協会が運営する「**漁港情報クラウドシステム**(以下、システム)」 を使用している。

2-2 業務内容

システムの構成要素である漁港・漁港海岸平面図及び関連データについて、各種資料及び現況確認から データを更新修正し、システムへの登録を行う。

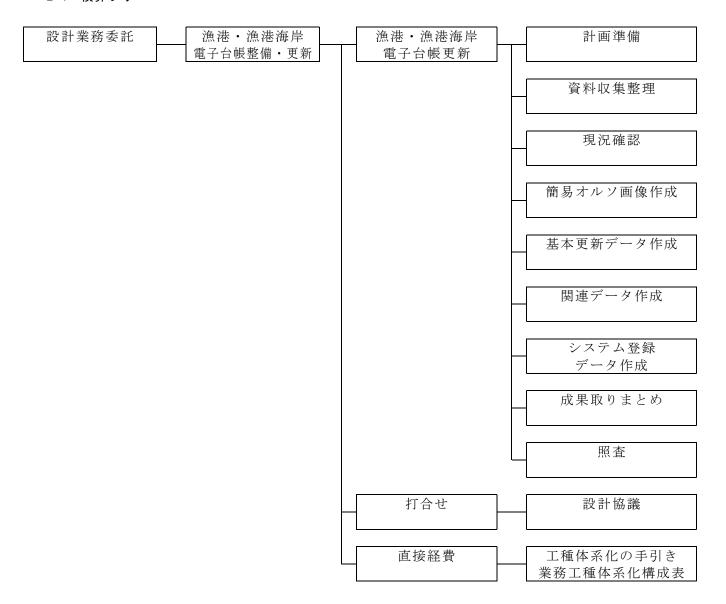
作成する資料の種類、規格の詳細については、(公社)全国漁港漁場協会が定める「**漁港情報クラウド** システムの運用等に関する実施要領」および「**漁港情報クラウドシステム新規データ整備業務特記仕様書**」 に準拠する。

2-3 作業区分

名称	業務内容
計画準備	業務の目的を把握した上で設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成
	する。
資料収集整理	システムに入力する各種情報の基礎となる資料について収集整理を行う。
	収集整理を行う資料は以下のとおりで貸与とする。
	資料の貸与・提供は電子データを標準とする。なお印刷媒体資料の貸与・返却は
	協議時の直接渡し、あるいは宅配便等による送付を基本とする。
現況確認	調査対象漁港において、以下の現況確認作業を実施する。
	①現地踏査 (GNSS 計測)
	GNSS測量機を用いたネットワーク型RTK方式により、漁港施設、漁港海岸保全施
	設の平面形状及び天端高の計測を行う。
	②現地踏査 (写真撮影)
	デジタルカメラ等により漁港施設の写真撮影を行う。なお、写真標準サイズは
	2560×1920を原則とし、大きく乖離しないよう留意する。
	漁港基本施設である外郭・係留施設及び海岸保全施設については、施設全体形状
	及び構造や特徴がわかるように施設全景、断面毎に起終点からの写真を撮影すると
	ともに、スパン毎の写真を撮影する。
	漁港機能施設のうち、水産基盤施設機能保全計画の対象となる道路については施
	設全景写真、及び起終点、交差点ごとに写真撮影を行う。
	漁港施設用地、漁港管理者が設置、管理を行う建築物や各種漁業関連設備、漁港
	看板、航路標識等航行補助施設、安全灯・灯標、漁港原点、工事基準点について
	は、施設全景及び構造・特徴のわかる写真を撮影する。
	③マルチコプター計測(空撮)
	漁港区域内全域の簡易オルソ画像を作成するため、マルチコプター・UAV等によ
	る空中写真撮影を行う。
簡易オルソ画像作成	マルチコプター計測で取得した画像より、写真測量ソフトウェアを用いて漁港区
	域全域の簡易オルソ画像を作成する。簡易オルソ画像の作成にあたっては、GNSS計
	測を行った計測点を評定点として空撮画像の解析/合成を行う。

名称	業務内容
基本更新データ作成	
坐个文/// / IF//X	査結果から更新に必要な更新用のデータを作成する。
	①工事履歴情報作成
	新規データ整備、または前回更新以降に実施された工事毎のデータ作成を行う。
	収集した工事関係資料から工事平面図、標準断面図、縦断図、設計図書、安定計算
	書、完成写真を電子化し、データファイルを作成する。
	②施設更新情報作成
	工事履歴情報に追加した完成工事、その他要因により、漁港台帳に追加、削除、
	または登録情報の修正を行う必要がある施設について、台帳明細表の更新データを
	作成するとともに、増減表に追記する。
	登録されている標準断面図、安定計算書、安定計算表、その他構造計算書類、
	施設写真データの更新が必要な場合は、データを作成する。
	③その他更新情報作成
	漁港計画や長寿命化計画の改定等、工事履歴情報、施設更新情報並びに漁港台帳
	記載項目以外の登録情報に変更が生じた場合に、必要なデータを作成する。
	④平面図更新データ作成
	漁港電子平面図の更新が必要な場合には、現況確認結果、収集資料等に基づきシ
	ステムに登録されているGIS形式の漁港電子平面図データの更新資料を整理する。
	⑤水域施設データ作成
	水域施設範囲を追加、または変更する場合には、発注者より提供される泊地、航
	路、漁具管理水域それぞれの範囲が明確に分かる資料に基づき、水域施設データを
	作成または更新する。
	⑥漁港施設用地利用計画データ作成
	既存システムに漁港施設用地等利用計画を追加登録、または登録されている漁港
	施設用地等利用計画データに変更が生じた場合は、各法令に基づき利用計画平面図
	データの追加、修正を行う。
	⑦海岸保全施設データ
	既存システムに海岸保全施設データを追加登録、または登録データに変更が生じ
	た場合には、漁港施設と同様、各法令に基づく調製要領に準拠し、漁港施設と同様
	の手順、方法により更新用の地図データを作成するとともに、漁港海岸保全区域台
	帳記載内容の修正・追加を行う。
関連データ作成	収集した資料から、漁港・漁港海岸事業に関連する各種の調査・検討資料に基づ
	きシステム追加登録データを作成する。
	作業区分は「1 漁港・漁港海岸電子台帳整備」による。
	①老朽化調査データ
	②水域管理データ
	③深浅測量データ
	④地質調査データ
	⑤各種調査データ
> > 7V AT	⑥業務成果データ (4.8xx かまな用が、 たまな まなが ないましない おなな (はだして
システム登録	作成した更新用データー式を、更新表、更新データにとりまとめ、登録を依頼する。
データ作成	①漁港台帳データ登録
	更新表に基づき、漁港台帳に関する更新データをデータベースに登録する。
	②工事履歴データ登録
	更新表に基づき、工事履歴情報に関する更新データをデータベースに登録する。
	③システム登録データ作成 作成したデータでルスファイルと再新データとい 「システルデータ作成・再新
	作成したデータベースファイルと更新データより、「システムデータ作成・更新のモニ」に従い、再新田のデータセットを構成した後、WED形式のデータに亦挽し
	の手引」に従い、更新用のデータセットを構成した後、WEB形式のデータに変換し システムに登録する
成果取りまとめ	システムに登録する。 作成したデータセット一式をメディアに取りまとめ、成果および作業内容につい。
水木収りまとの	作成したケータセット一式をメティナに取りまとめ、成果やよい作業内谷につい ての報告書を作成する。
照査	Cの報 p 音を 1F 成 y る。 入力を行った各種データについて原版と比較検証を行い、入力内容およびシステ
<u>1.</u>	
	ム上の表示内容に不備が無いか照査を行う。

2-4 積算ツリー



2-5 数量計算等

中区分		小区分	単位	摘要
漁港·漁港海岸電子台帳更新	計画準備		式	
	資料収集整理		港・地区	
	現況確認		港・地区	
	簡易オルソ画像作	≡成	港・地区	
	基本更新データ作	≡成	港・地区	
	関連データ作成	老朽化調査データ	施設	
		水域管理(浚渫)データ	回	
		深浅測量データ	回	
		地質調査データ	孔	10孔当り
		各種調査データ	回	
		業務成果データ	₩	10冊当り
	システム登録デー	- 夕作成	港・地区	
	成果取りまとめ		式	
	照査		式	

2-6 標準歩掛

1) 計画準備

計画準備(更新) 1式当り

[DHE81100]

区分	出位			数量			按曲
上 刀	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
計画準備	式	0.5	0.5				

注) データ更新のみの場合に適用する。

2) 資料収集整理

資料収集整理(更新)

[DHE81200]

区分	単位			数量			協田		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	平仏	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要		
資料収集整理	式		0. 5			1.0			
紙媒体資料の整理・取込	件		0.2			0.4	※10件当り		

- 注) 1. 資料収集整理は、原則として初回協議又は中間協議時に実施することを原則とする。
 - 2. 複数の箇所より資料収集を別途実施する必要がある場合には、適宜、旅費(技師(B)、技術員)を計上する。

3) 現況確認

現況確認(更新) 1港・地区当り

[DHE81300, DHE81305]

	Z ∓hr	光片			数量	按 邢		
	名称	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
更	新施設GNSS計測・写真撮影				0.6		0.6	
マ	ルチコプター計測(空撮)							
	(小中規模)	港・地区			1.5		3.0	施設延長4,000m未満
	(大規模)				3.0		6.0	〃 4,000m以上8,000m未満
	(特大規模)				4.0		8.0	〃 8,000m以上20,000m未満
交	通車	日		(技	師Bに同	ライトバン20、運2h/就8h		
雑	材料	%			14	上記の%、機械損料を含む		

- 注) 1. 施設延長は台帳上の漁港施設と漁港海岸施設の延長の合計とする。
 - 2. 施設延長20,000m以上の場合は別途見積によること。
 - 3. 空撮未実施の漁港について、更新時に初めて空撮を行いオルソ画像を作成する場合には 「1 漁港・漁港海岸台帳整備 1-6 標準歩掛 3) 現況確認(新規)」を用いる。
 - 4. 浚渫のみの工事、附属工(防舷材、滑り材等)、形状変更を伴わない維持補修工事 (消耗品交換、舗装補修等)の場合は現況確認を計上しない。
 - 5. データ更新においては、原則として更新対象施設の(全体あるいは一定の構造単位毎)完成時に現況調査を行うことを標準とする。(施設の延伸途中、暫定施工時は現況確認を行わない。)
 - 6. 現場条件により、交通船による移動を必要とする場合には、別途交通船を計上する。
 - 7. マルチコプターは、「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」等に準じた機体とする。

4) 簡易オルソ画像作成

簡易オルソ画像作成(更新)

[DHE81310]

	区分				数量	摘要		
簡易	オルソ画像作成	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	加女
	(小中規模)					1.0	2.0	施設延長4,000m未満
	(大規模)	港•地区				1.5	4.0	〃 4,000m以上8,000m未満
	(特大規模)					2.0	6. 0	# 8,000m以上
雑材	雑材料		10					上記の%

- 注)マルチコプター計測を行った場合に計上する。オルソ画像未作成漁港について、更新時にオルソ画像を 初めて作成する場合には、「1 漁港・漁港海岸台帳整備 1-6 標準歩掛 4) オルソ画像作成(新規)」 を用いる。
- 5) 基本更新データ作成

基本更新データ作成 1港・地区当り

[DHE81320]

				1.1.			
区分	単位	主任技師	技師(A)	数量 技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
工事履歴情報作成	工事				0.5	0.5	※10工事当り
施設更新情報作成	施設				0.5	0.5	※10工事当り
その他更新情報作成	港・地区				0.5	0.5	※10工事当り
平面図更新データ作成	港・地区			0.2		0.6	必要に応じて計上
水域施設データ作成	港・地区				0.3	1.0	
漁港施設用地利用計画データ作成	港・地区				0.5	1.5	
海岸保全施設	区域				0.3	1.0	必要に応じて計上

注)データ未作成の漁港(地区)へ追加する場合は新規整備を適用する。

6) 関連データ更新

関連データ作成 (更新)

[DHE81701 ~ DHE81706]

区分	単位		Ī	摘要			
四月	平江	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	- 順女
老朽化調査データ	施設				0. 1	0.2	
水域管理(浚渫)データ	回				0.2	0.3	
深浅測量データ	回				0.5	1.0	
地質調査データ	孔				0.2	0.5	※10孔当り
各種調査データ	回				0.5	1.5	※底質調査含む
業務成果データ	₩				0.1	0.2	※10冊当り

- 注) 1. 底質調査、その他調査は1調査=1回としてカウントする。
 - (ex 1件の委託で春、秋に調査を行っている場合は2回、調査地点数は問わない)
 - 2. 老朽化調査データは、簡易調査(簡易)、簡易調査(重点)の実施回数合計として計上する。 詳細調査は単独で実施した場合のみ計上する。

7) システム登録データ作成

システム登録データ作成 (更新)

[DHE81800~DHE81830]

	17.17.	単位		直	摘要			
	区分	+112	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	间女
漁港	港台帳データ登録	施設				0.5	1. 5	※10施設当り
工事	事履歴データ登録	工事				0.5	1. 5	※10工事当り
シン	ステム登録データ作成							
	漁港電子平面図更新あり	港・地区		0. 2		0.6		
	漁港電子平面図更新なし			0. 1		0.3		

8) 成果取りまとめ

成果取りまとめ (更新)

[DHE81900]

区八	用品		直	接人件	松 邢		
区分	単位	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	摘要
成果取りまとめ	式		0.2		0.5	1.0	

注) 電子台帳の整備と更新を同時に実施する場合は、整備にのみ計上する。

9) 照査

照査(更新) 【 DHE82000 】

区公	単位		直	摘要			
区分	半世	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	[
照査	式	0.3			0.5		

2-7 設計協議

「土木事業委託積算基準 (設計編) [1]設計業務委託積算基準」を適用する。

初回、納品時の2回を標準とし、特別の理由により必要な場合には中間協議を計上する。

2-8 事務用品費

事務用品費は、直接人件費の1.0%を標準とする。(ただし、照査、設計協議の人件費は除く)

2-9 報告書

報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、

「土木事業委託積算基準 (設計編) [1] 設計業務等委託積算基準 1-6 電子成果品作成費」による。

2-10 電子計算機使用料

電子計算機使用料は、以下を標準とする。

区分	規格	単位	数量	単価	摘要
データ登録電算経費	漁港電子平面図更新あり	港・地区		32,000	
/ / 亞球电异柱頁	漁港電子平面図更新なし	伦。地区		20,000	
ID・PW発行手数料		式	1	3,600	

注)1. ID・PW発行手数料が不要となった場合は、設計変更で減工すること。